

中 部 N O W

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・中部日本研修センター会報

第322号

令和4年4月号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター

〒470-0328 豊田市勘八町勘八27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103

E-mail: chubu@oisca.org <http://www.oisca.org/>

令和4年度 事業計画発表会

3月16日、センターホールで事業計画発表会が開催されました。

事業計画発表会は、本部並びにセンター運営方針の発表、各部門責任者による目標発表をスタッフ全員で共有し、方向性を揃え、研修センターとしての成果を出していくことを目的として実施しています。

4回目となる今回は、責任者の発表に加え、全員参加型とし、一人ひとりが目標を発表しました。

10か年計画の最初の年となる本年、令和4年度の方針や目標が責任者から発表されましたので、一部紹介させていただきます。

経営方針として、会費・技能実習・農業生産・事業・寄付金募金をセンター収入源の5つの柱とし、5部門をバランスよく拡大・発展させていくために、職員全員が数字にこだわり、スタッフ一人一人の努力と汗が成果と結果に表れる年にしていくことが発表されました。年度明け早々に名古屋東推協の発足、新入社員研修が行われるなど行動が実を結び、コロナ禍に負けずに、着実に前進していく年にしたいと思います。

澤井 利昭(筆)



コラム

ウクライナ避難民の受け入れ

2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻しました。まさかと思う戦争が勃発してしまいました。一刻一刻と戦況が報道され、戦争が長引くにつれ、一般民間人の犠牲が多くなってきました。学校や病院など無差別攻撃にさらされていて、特に東南部ロシアの影響の強い「マリウポリ」では人口40万人のうち10万人の食糧、水などが断たれる中、身を潜めている人たちがいることが懸念されます。

元気で動ける人はポーランドやルーマニアなどに国外避難しています。動けない人々や年配者や障害のある人、それらの人々を介護している家族は国内に留まっており、避難民は推定で1000万人を超えるとされています。

オイスカにも避難民の受け入れ要請が来ておりまして、受け入れの人数などの検討に入っております。日本政府はこの4月から避難民受け入れの調整に入っており、オイスカも人道上の観点から受け入れる方向で動いております。また各地方自治体、民間団体、民間企業なども人道支援の動きが始まっています。

かつて、ベトナム戦争後の社会主義政権への移行に伴って発生したインドシナ(ベトナム、ラオス、カンボジア)の140万人の難民が発生しました。日本に来た難民は11,000人でしたが、オイスカはそのうちの数十名を何回かに分けて受け入れました。1979年ころで、まだ中部日本研修センターが岡崎にある頃でした。皆さん正座して食事をしていました。強く印象に残っていることは、難民の皆さんは食事もまともに取れないことでした。またカンボジア情勢不安により、特別措置が出されて、民間企業で就労し、依頼により10年滞在していました。

村松 明

オイスカ愛知県支部幹事会開催

支部幹事会が3月19日(土)の午前10時に開催されました。主な議題を記載します。

- 1 ボランティア募集について
第1回活動 次回幹事会5月21日(土)の開催日の9:00からサツマイモの植え付けを実施します
- 2 会員増強 令和3年度末813名
- 3 令和4年度新幹事候補の承認 (原案通り承認)
- 4 オイスカデーの開催について (名古屋市で開催予定)
- 5 各推協で青年部立ち上げ (原案通り承認)
- 6 フィリピンネグロス島バゴ研修センター災害復旧支援 (原案通り承認)

大阪マラソン寄付金の取り扱いについて

多くの皆様にご寄付を頂き2月27日(日)の大阪マラソンに参加する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う大阪府の医療体制ひっ迫を踏まえて、一般ランナー部門の開催が中止となりました。3月30日に大会事務局より募金の取り扱いなどについて正式に発表がありましたのでご報告致します。

豊田市からは3名のチャリティーランナーが出走予定でした。皆様から頂いたご寄付は合計で**37万7千735円**でした。全額オイスカに寄付されます。沢山のご寄付ありがとうございました。次回大会に参加を希望するランナーは全員、抽選によらず出場できるようです。

(オイスカホームページ、スタッフブログの「大阪マラソン中止を受けて」ご覧になって下さい。)

筑田明生(筆)

第2回 伊勢研修

3月3日(木)に第2回伊勢研修が行われました。今回はセンタースタッフをはじめ、豊田推協から梅村清春副会長、近藤将喬幹事、三重推協の四日市電機様から手代木会長、吉見社長もご参加いただき、22名での訪問となりました。今回も(公財)修養団の寺岡賢先生が講師として引率をしてくださいました。

最初に夫婦岩のある二見興玉神社を参拝。無垢塩草、天の岩屋のお話をいただきました。次に大正天皇の幼少期に避暑や療養などで滞在された賓日館を訪問。大広間でこの建物を保存するNPOの事務局長さんよりお話をいただいた後に館内を回りました。ちょうど時期的にひな人形の展示がされていて、建設から135年経った当時の面影が残る、建物やきれいな海と庭を見ることができました。

昼食後は内宮を回り、御垣内参拝をすることができました。前回聞いた話、新たに聞いた話もあり、リピーターの参加者にとっても勉強になった研修となりました。毎年3月に伊勢研修を行うことを約束してくださいましたので、次回も参加できたらと思います。 安東幸太郎(筆)



農業担当者会議開催

3月8日と9日の2日間、オイスカ西日本研修センターにて農業担当者研修会が行われました。

各センターでは農業研修のさらなる充実が求められています。さらに農産物収益による財源の確保は研修センター運営の要とされており、今後の推移次第では国内の人材育成事業を大きく左右することも懸念されています。

農業研修の目的を再度明確にし、現状と課題を把握、共有してこれからの10年を見据えた研修会になりました。皆様方のご支援の下、職員一同一丸となって取り組んで参ります。 筑田明生(筆)



リーダー研修会

3月26日(土)、27日(日)SYD愛知クラブ・公益財団法人修養団主催でリーダー研修会が開催されました。修養団さんは100年以上の歴史を持つ社会教育団体です。

“愛と汗”の精神を理念とし「心の教育」一筋に青少年の健全育成を中心としてさまざまな活動を実施している団体です。研修会では野外炊事、お掃除、工作体験などのプログラムに加え、オイスカならではの農業体験なども行い。学びの多い充実した2日間となりました。

中村 仁美(筆)



ライ、リナさんのお別れランチ

センターを去る二人へささやかな会が催されました。帰国が1年以上も延びたライを毎日農場で支え、落ち込んだ彼をギャグで笑わせてくれた酒向先生や、豪華旅行に連れて行ってくださった鈴木さんたちに囲まれて最後のランチをしました。帰国後お弁当屋さんをオープンしたいとビジネスプランを堂々と発表したリナさん。日本でのキャリアでも十分でしょうにこれから起業するというガッツに敬意を表します。それぞれの地でオイスカスピリットを見せてくれるでしょう。頑張ってください！

宗像ジュイエ（筆）



メレ&ライアクションプラン発表会



3月9日(水)、帰国しますフィジー研修生のライとメレのアクションプラン発表会がありました。センタースタッフやボランティアの他、外部からは生け花の村田先生、パン作りの内藤先生、洋裁の後藤先生にもご参加していただきました。

ライは農業研修での経験を活かしてフィジーセンターで白ネギ栽培の指導をすると発表がありました。家政のメレは昼食に調理実習やパン作りで学びました料理でもてなし、午後から発表をしました。帰国してからはパン屋さんを開きたいという夢を語りました。発表後には改めて研修の修了証と記念品が授与されました。

ライさんは3月16日に帰国、メレさんは5月1日に帰国予定です。アクションプランで発表したことが実現できるようにセンタースタッフ一同、応援しています。

安東幸太郎（筆）

3月研修生の活動 ヶレゴリー（筆）



いねのたねまきを職員と皆でやりました。



ライさんがあぜぬりをしました。



ライさんがロータリーをしました。

ホームページ
リニューアルしました！



↑QRコードから
チェックしてみてね！

更新会員名簿 (753/807)

安城 (67/75) 有限会社 かねとみ
岡崎 (20/30) 周平懇話会
蒲郡 (9/10) 株式会社 大國屋
豊田 (208/237) 暴れん坊チキ
ン、前田きくの、加藤勝代、S、合同
会社、鈴木康栄、佐藤道太郎、中山純二、
堀清一
名古屋 (62/69) 山本正美、筒井夕
カヤ
みよし (43/44) 坂口嘉弘
センター (32/44) 松本尚人

新入会 (法人)

株式会社 水野誉十郎商店(津島市)
大新運輸 株式会社(海部郡飛島村)
株式会社 きときと(名古屋市)
江崎プラスチック工業 株式会社(岐阜
県山県市)
木下工業 株式会社(名古屋市)
株式会社 野田スクリーン(小牧市)
株式会社 かんしゃ(名古屋市)

新入会 (個人)

村上典子(江南市)
青山周平(岡崎市)
鈴木崇司(名古屋市)
野口里美(豊田市)

寄付金

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会
社(岡崎市)
株式会社 磯貝コンクリート工業所(高
浜市)
河原知史(岩倉市)
川嶋君子(安城市)
リネットジャパングループ 株式会社
(大府市)
学校法人中野学園 オイスカ高等学校
(浜松市)
山守の会(大府市)
ゆう農会(豊田市)
鈴木洋(丹羽郡扶桑町)
東邦ガス株式会社(名古屋市)
三上正(豊田市)
村松明(西尾市)
今井英夫(新城市)
沼田昭雄(名古屋市)

寄付品

加藤みつ子(豊田市)
明保澄雄(岡崎市)
梅村清春(豊田市)
磯村洋子(知立市)
畔柳みどり(豊田市)
佐久間由隆(豊田市)

書き損じはがき

加藤みつ子(豊田市)

ベルマーク

株式会社 豊田自動織機(豊田市)

インクカートリッジ

株式会社 豊田自動織機(豊田市)

海外研修生支援パーティーのお願い



なが〜く閉ざされていたゲートが開き、中部センターにも海外からの青年が入
てきます。中には2年以上現地で待機してくれていた実習生たちもいます。派遣前
の1〜2か月間センターで過ごす中で日本の制度、生活、言語をぎゅっと詰めこまな
ければなりません。日本に早く慣れることができるようにぜひお力をお貸し下さ
い！！！！

【日時】5〜7月の土曜午後、日曜、祝日のご都合がよい時間
【内容】センターから技能実習生を外の世界に連れ出してください！
(例えば、))
スーパーへ行って一緒に買い物、近くの公園で一緒に散歩、カフェで夢を語り合う、
お孫さんと一緒にボードゲーム、会話しながらのドライブ etc…
(みなさんと過ごす2, 3時間は彼らにとってかけがえのない時間となることでしょ
う。。。)

連絡は研修Ⅱ課までお願いします。

Follow Me!
はじめました

Instagram

oisca_chubu



中部センターの日常
を更新中！

オイスカ中部
LINE公式アカウント
お友だち募集中！



イベント情報・センターの様子を
お届けします！